

海洋理工学会平成19年度秋季大会プログラム

11月1日(木) 10:00~18:00

学会賞記念講演

10:00-10:40 H1. 堀田記念奨励賞受賞講演

「きれいな海」から「豊かな海」へー“干潟・浅海域と湾央域”及び“底生系と浮遊系”のカップリング(内湾複合生態系モデル)から見えてきたものー
相馬明郎(みずほ情報総研)

10:40-11:20 H2. 論文賞受賞講演

干潟メソコスムを利用した内湾環境修復における干潟・浅場造成材確保に関する研究
本田是人(愛知県水産試験場)

11:20-12:00 H3 業績賞受賞講演

シンポジウムから見た海洋工学コンファレンスから海洋理工学会への変遷
岡 健司((株)日本海洋生物研究所)

シンポジウム「海洋基本法時代における海洋理工学の展望」

13:05-13:45 S1. 基調講演:海洋基本法と海洋基本策定に向けた取り組み

本田直久(内閣官房総合海洋政策本部)

13:45-14:25 S2. 基調講演:海洋基本法・海洋基本計画の意義と今後の方向

中原裕幸((社)海洋産業研究会)

14:40-15:10 S3. 生態系・環境と漁業活動

武井 篤(水産庁生態系保全室)

15:10-15:40 S4. EEZ・大陸棚の深海底鉱物資源開発と環境問題

山崎哲生((独)産業技術総合研究所)

15:40-16:10 S5. 海の鹿鳴館時代ー海洋観測の現場

門馬大和((独)海洋研究開発機構)

16:10-17:00 総合討論

17:30-19:00 イブニングミーティング

11月2日(金) 9:30~17:00

9:30-10:30 衛星センサー

座長 千賀康弘(東海大海洋)

A1. MODIS バイナリーデータを用いた赤潮発生条件の高精度化

○青山隆司、松井佑介(福井工大)

A2. Metop-A/ASCAT C-バンド散乱計によって観測された

海上風ベクトル初期データの精度評価

○江淵直人(北大・低温研)

A3. 地球環境変動観測ミッション(GCOM)計画について

○富井 直弥(JAXA)

10:40-12:00 観測機器開発

座長 門馬大和(JAMSTEC)

A4. 大深度小型無人探査機「ABISMO」の開発

○石橋正二郎、大澤弘敬、吉田弘

井上朝哉、田原淳一郎、渡邊佳孝、藤和彰、澤 隆雄、青木太朗(JAMSTEC)

A5. OBS の改良と回収率向上

○伊藤 誠、菅野真人、寺田育正(日本海洋事業(株))

- A6. ピストンコアラーの挙動計測 ○前野克尚、古田俊夫(JAMSTEC)
木村 亮(グローバルオーシャンディベロップメント)
- A7. KYO7-05 Leg.1 調査観測機器の性能・向上試験航海成果報告
○竹友祥平、松浦由孝、林 央之、畠山映((株)マリン・ワーク・ジャパン)

13:00-14:20 音響計測 座長 新家富雄(SIT)

- A8. 近距離高速音響 LAN の開発
○韓 軍、浅田 昭(東大生研)、八木田康信(本田電子(株))
- A9. 合成開口処理による既成ソナーの性能向上実験
○澤 隆雄、月岡 哲、青木太朗(JAMSTEC)、
千葉和宏、牧 哲司、斉藤文誉(日本海洋事業)
- A10. Suspension Method Using with Multiple Optical Beams for Target Strength Pattern Measurements of Oceanic Organisms
○Ken Ishii, Koki Abe, Kouichi Sawada (FRA, Inst. Fisheries Eng.),
Kazuo Amakasu (Univ. Kaiyo) and Tohru Mukai (Univ. Hokkaido.)
- A11. ジュゴンの摂餌場利用特性の解明
天本奈々子、市川光太郎、○荒井修亮(京大院情報)、赤松友成(水研セ水工研)、
新家富雄(SIT)、原 武史(日本水産資源保護協会)、Kanjana Adalyanukosol (PMBC)

14:30-16:50 環境と生態系モデル 座長 中田喜三郎(東海大海洋)

- A12. 自然共生海岸づくりによる魚場施設の再生事業 ○笠原 勉(いであ(株))
- A13. システムダイナミクスツールによる海洋生態系モデルの構築
○浅野和仁、高橋 理、石原靖文(日本エヌ・ユー・エス(株))、原島 省(国立環境研)
- A14. 底泥熱収支を考慮した干潟生態系モデルの構築と適用
○芳川 忍、永尾謙太郎(いであ(株))、滝川 清、森本剣太郎、田淵幹修(熊本大)
- A15. Full3D モデルによる浅海底窪地付近の流動解析 ○大野創介、中田喜三郎(東海大海洋)
- A16. マルコフ連鎖を用いた海藻群落の遷移モデル
○眞田武((株)日本港湾コンサルタント)、宮内俊一(㈱南西総合研究所)
工藤盛徳、中田喜三郎(東海大海洋)、谷岡弘邦(国交省名古屋港湾事務所)、
中島吉近(元(財)港湾空間高度化環境研究センター)
- A17. 多種系のロトカ・ボルテラ方程式における種間相互作用係数の同定方法の開発と数値除去実験による間接効果の検討
○眞田武((株)日本港湾コンサルタント)、宮内俊一(㈱南西総合研究所)、
工藤盛徳、中田喜三郎(東海大海洋)、谷岡弘邦(国交省名古屋港湾事務所)、
中島吉近(元(財)港湾空間高度化環境研究センター)
- A18. 有明海における植物プランクトン遷移過程のモデル解析
○釘宮秀友(いであ(株))、中田喜三郎(東海大海洋)